

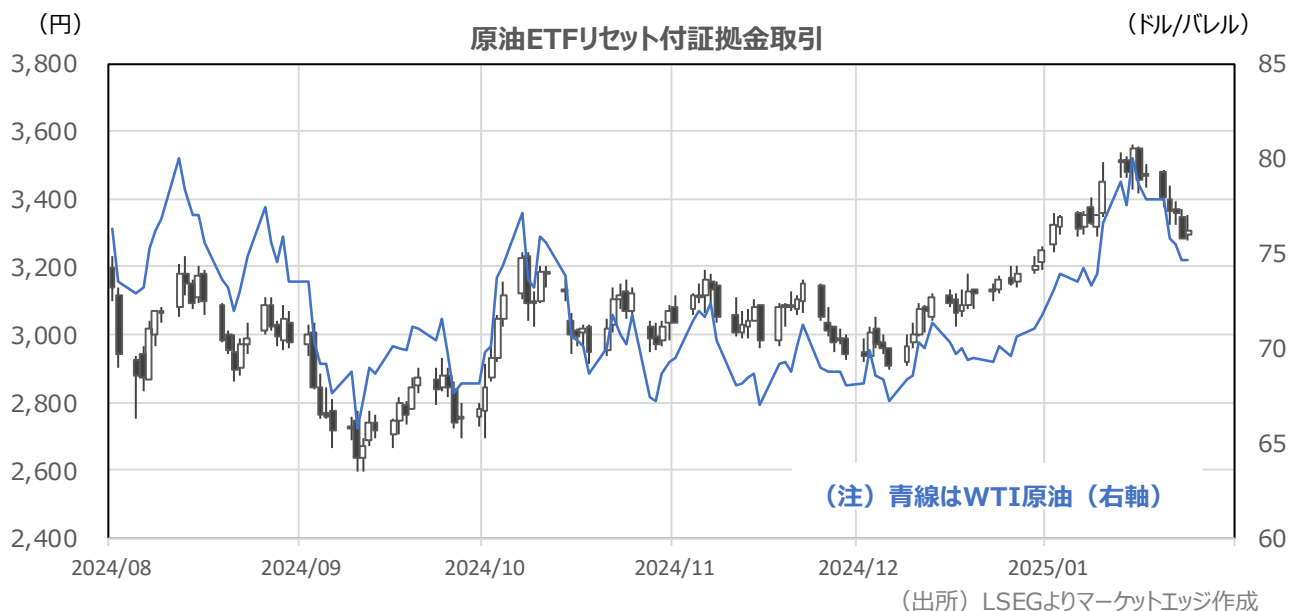
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/01/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



急ピッチな上昇一服、トランプ政権の増産警戒

NY原油先物相場は、1バレル=74ドル台まで下落する展開になった。北半球の寒波による需給引き締まり警戒、米国の対ロシア制裁強化の動きを背景に急ピッチな上昇が続いていたが、上げ一服後の反落局面に移行した。1月20日にトランプ米政権が始動したが、米国内の増産圧力が警戒されたことに加えて、石油輸出国機構（OPEC）に対して原油価格引き下げを要請する方針を示したことも、原油相場を圧迫している。

トランプ米大統領は就任演説において、原油・天然ガスの増産方針を示した。インフレの抑制とウクライナ戦争終結の二つの視点から原油価格引き下げの必要性を訴えており、米国内では増産を促すための施策が活発化するとの見方が強まった。しかも、23日と24日には二日連続でOPECに対して原油価格引き下げを要請すると発言している。OPECが対応する可能性は低いが、トランプ大統領の原油価格引き下げへの強い意欲が、原油相場の値下がりにつながった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月17日時点）は、原油が前週比102万バレル減、ガソリンが233万バレル増、石油精製品が307万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

急伸一服後の反落局面に、トランプ米大統領の動向に注意

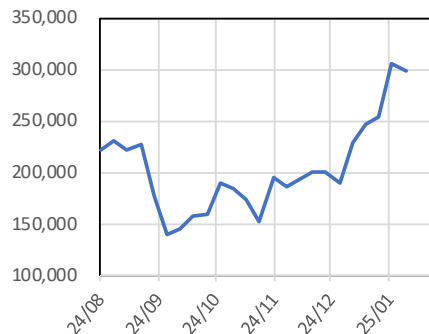
短期需給の引き締め圧力が消化され、上値の重さが再確認される見通し。北半球ではまだ厳しい寒波が続いているため、天然ガス相場との連動で瞬間的に上昇するリスクは払しょくできないが、80ドル水準で高値限界を確認した可能性が高まっている。国際原油需給が供給超過に向かう見通しには変化がみられず、徐々に急伸前の70ドル水準での取引に回帰していく見通し。

トランプ米政権が始動したが、原油価格押し下げに想定以上の積極姿勢を見せていることはネガティブ。具体的な取り組みは不明だが、就任演説では「Drill,Baby,Drill（掘れ、ベイビー、掘れ）」と、米石油会社に増産を促す方針を確認している。その一方で、OPECに対しては原油価格引き下げを要請している。ロシアがウクライナ戦争を継続することができなくするためには、原油価格引き下げが必要と主張している。トランプ大統領の意向で原油価格が決まる訳ではないが、強力な圧力が想定されることが、原油相場の地合悪化を促そう。同様の動きが続くと、さらに調整売りが膨らみやすくなる。

通商環境については、対中関税は使いたくないと発言していることはポジティブ。中国との交渉による問題解決が望ましいとしている。ただし、トランプ政権の動向は先行き不透明感が強く、通商環境の改善期待で原油価格が大きく上昇する可能性は低い。

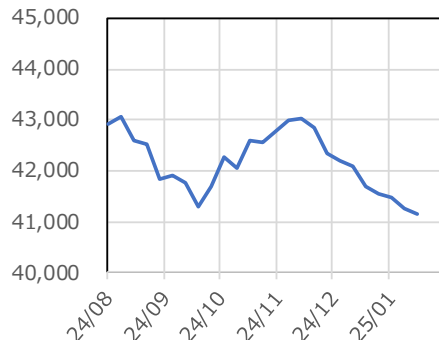
1月28～29日の米連邦公開市場委員会（FOMC）にも注意が必要。政策調整は見送りが確実視されているが、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言によってはドルの値動きが活発化する可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



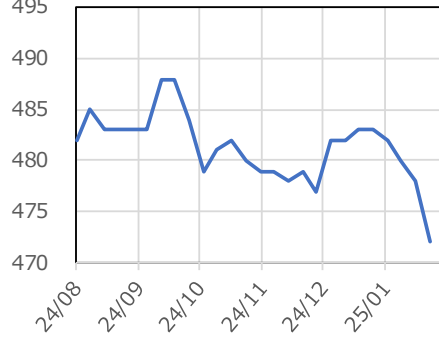
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

